

# 藍島～馬島間 海底ケーブル改修工事のお知らせ

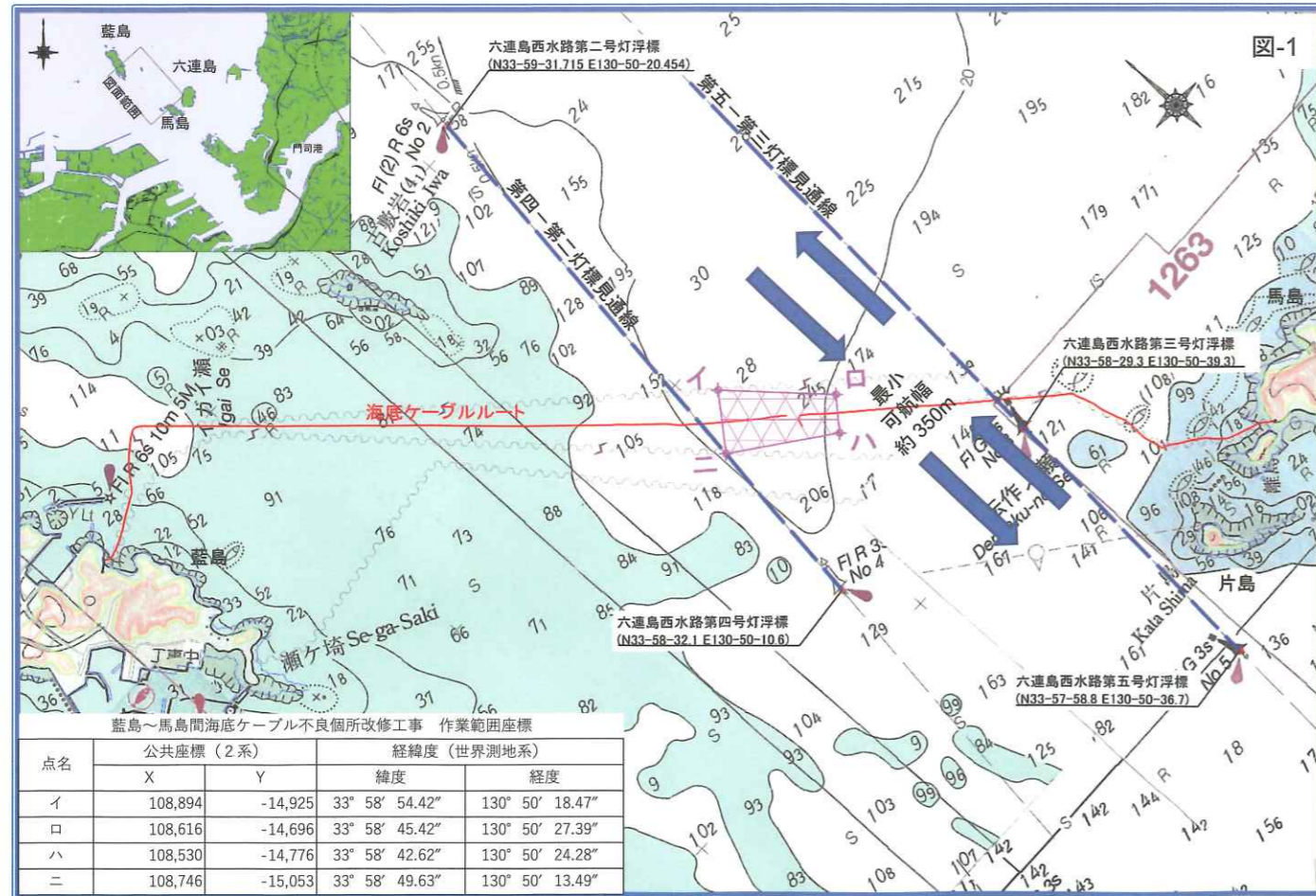
藍島～馬島間の既設電力海底ケーブルの改修工事を下記の要領で行います。  
 付近を航行する船舶は十分ご注意頂くとともに、ご協力をお願いします。

## 1. 作業期間および時間

工事区間	種別	作業船種	最大隻数	期間予定	作業時間	対策
馬島 藍島間 海域	ケーブル 掘出 再埋設	潜水士船	1隻	令和2年8月中旬 ～ 令和2年9月中旬	日出 ～ 日没	警戒船4隻
	ケーブル 割入れ	DPS台船 潜水士船	各1隻	令和2年8月下旬 ～ 令和2年9月上旬	昼夜 連続	昼間:警戒船4隻 夜間:大型警戒船2隻

\* ケーブル割入れ工事作業における昼夜連続作業は最大で4日間を予定しています。  
 \* 気象条件によって、工程の変更が予想されます。工事情報は情報管理者にお問い合わせください。

## 2. 作業場所



## 3. 作業概要

### 3.1 ケーブル掘出・再埋設 図-2

潜水士船をケーブル上に係船して、埋没した既設ケーブルを潜水士で掘り起しを行います。掘削土はトレンチの横に仮置きして、復旧後の埋戻しに使用します。ケーブルの割入れが完了した後は、割入れケーブルを埋設します。ケーブル掘出し及び再埋設作業は昼間作業で実施します。

### 3.2 ケーブル割入れ 図-3

修理用DPS台船をケーブル直上に定点保持させて、既設ケーブルの端末を引き上げて既設ケーブルの障害部分を撤去します。揚収した既設ケーブルの健全部に新規ケーブルを割入れて障害部分の改修を行います。ケーブル割入れ作業は昼夜連続で実施します。

## 4. 安全対策

- 潜水作業中は潜水士船又は修理台船に国際信号旗 (A旗板) を掲げ、潜水作業中であることを航行船舶へ明示します。
  - 実施中の作業の種類により、周囲に警戒の標識 ( 緑 黄 緑 の吹き流し ) を掲げた警戒船を以下のとおり配備します。
- 3.1 「ケーブル掘出し及び再埋設」・・・潜水士船の4隅に1隻ずつ警戒船を配備します。(うち1隻はVHF装備の指揮船)
  - 3.2 「ケーブル割入れ ( 昼間 ) 」・・・修理台船の4隅に1隻ずつ警戒船を配備し、作業海域の北側に大型警戒船 ( 1 隻、国際VHF搭載 ) を配備します。
  - 3.2 「ケーブル割入れ ( 夜間 ) 」・・・修理台船の南北に大型警戒船 ( 国際VHF搭載 ) を1隻ずつ配備します。

## 5. 航行船舶へのお願い

- 作業現場周辺を航行する場合は、操船に影響のない範囲で速力を減速すると共に、出来る限り作業船団から離れて航行して頂きますようお願いいたします。
- 全長145m超の船舶に対しては、警戒船等から行き合い調整等をお願いする事があります。
- 関門航路を航行する場合は国際VHFを活用し、特に16chを常時聴視下さい。

## 6. お問い合わせ先

情報管理者：日本サルヴェージ株式会社門司支店 阿部  
 事業者：九州電力送配電株式会社 北九州支社  
 配電部 配電建設グループ

携帯080-1719-4309

電話 (093) 531-1195